

三重創生ファンタジスタ News

三重創生ファンタジスタ養成に関連した情報をお届けするニュースレターです！

三重県内の地場産業の現場を 巡る授業「三重の地場産業」

平成31年2月14日(木)、2月19日(火)、2月21日(木)に、「現代社会理解実践(三重の地場産業)」(三重創生ファンタジスタオリジナル科目)を実施しました。

「現代社会理解特殊講義(三重の地場産業)」は三重県の地場産業である萬古焼、伊勢木綿、酒蔵の現場の第一線で活躍されている方々をゲストスピーカーとし、実際に現場も見学することで、三重県内の地場産業が抱える課題の発見と、それへの実現可能な解決策を提案する能力を修得することを主な目的とする授業です。この授業は現場見学もある実践的な科目であり、三重県経済が抱える課題に対して果敢にチャレンジする積極性と行動力をもった人材を養成しています。



●学生の声

- ・自分の意見だけでなく、他人の意見(他の受講生や各産業の社長)も聞くことでより一層理解が深まった。
- ・この授業では地場産業を客観的に見ることで、様々なデータを分析する手法が身についた気がする。今後の学びに活かしたい。
- ・普通に検索すると埋もれている情報も、現場を見たり、関係者に直接話を聞くことで裏側が良く分かり、自分の足で情報収集する大切さを思い知った。事前に調べたときはわからなかった情報も、現場で沢山手に入った。

参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/h30mie-local>

MIE学生ベンチャーサミット2019 鈴鹿中等教育学校で開催



平成31年2月16日(土)鈴鹿中等教育学校にて、MIE学生ベンチャーサミット2019を開催しました。鈴鹿中等教育学校が会場となり、学生が地域で起こすイノベーションと題して、三重県内の学生によるビジネスプランの取組事例発表が行われました。

当日は、中学生、高校生、大学生(留学生も含む)約160名が集まり、年齢や国籍を超えたビジネス交流に、場内は若者たちの活気で満ち溢っていました。

このイベントは、はじめに記念講演として、シナプテック株式会社の戸田達昭氏から「Go Change! Go Innovation!! 君の行動が世界を変える。～学生が地域で起こすイノベーション～」と題した講演があり、課題をどのようにとらえて、解決していくか。課題の数だけチャンスがあるので、積極的に挑んで欲しいなど、ご自身の体験を交えて、学生に語りかけていました。

その後、大学生、高校生、中学生によるビジネスプランの取組事例発表が行われ、会場からは、アイデアに関する質問や、実現性、費用対効果など実践的な質問も飛び交い大いに盛り上がりました。

最後に学生、社会人グループに分かれて、本音でトークを行い、今回のイベントの振り返りを行い、全体講評では、若い人の企業家を積極的に支援していきたいという主催者からの挨拶があり、盛況のうちに終了しました。

参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/events/0216venturesummit.html>

三重ラーニングジャーニー#4 が開催されました

平成31年3月4日(月)に、三重を知る旅「三重ラーニングジャーニー#4 津周辺の先進的取組み」を実施し、三重大学から8名、皇學館大学から3名の計11名が参加しました。訪問先は株式会社浅井農園と、事業協働機関である辻製油株式会社が運営する「うれし野アグリ」、三重県動物愛護推進センター「あすまいる」の3カ所です。

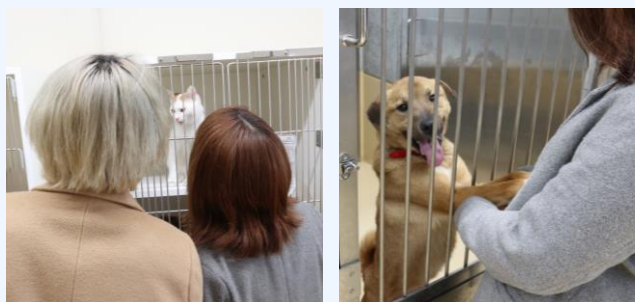
株式会社浅井農園の浅井社長よりミニトマトをはじめとした高付加価値な農業と木質バイオマスを活用したハウス栽培について説明いただき、現地見学をしました。農業を起点として、辻製油やデンソーといった企業との連携が進んでおり、またスタッフも単なる作業者ではなく自ら研究テーマを持つ農業技術者としてスキルアップに励む、といった企業としての魅力についても熱く語っておられました。特に、「浅井農園でのインターンシップを希望する」、「就職後も農業分野に携わる」といった主体性を持った学生がおり、有意義なディスカッションができました。



昼食は磨洞温泉涼風荘にて、津ぎょうざ等地元グルメを提供していただきました。中伊勢温泉郷の広域連携とともに、津ぎょうざ協会として地元をグルメから盛り上げる活動についてもご説明いただき、津近郊での観光に理解を深めました。

三重県動物愛護推進センターあすまいるでは、県として進めている愛玩動物の譲渡活動についてご説明いただきました。近年、動物愛護法改正に伴い殺処分を減らし譲渡を進める取組が官民連携が進められており、健康福祉や情操教育の面でも県民にメリットがあると理解を求めています。

学生たちも、身近な犬や猫といった存在が地域において重要な役割を果たしており、また三重モデルと呼ばれるこの官民協働の取組が全国的に注目されている事実を知って、大いに関心を持ったようでした。またプライベートでも訪問したいといった声も聞かれ、早速家族や友人にこの話をするといった声も上がっていました。



参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/learning-journey>

みえまちキャンパスを開催しました。



平成31年2月21日(木)「みえまちキャンパスin四日市大学」が開催されました。(高等教育コンソーシアムみえ主催)県内学生たちが取り組む地域活動発表会で、県内高等教育機関の教職員及び関係者約70名が一堂に会し、プレゼンテーション及びパネル展示による発表を行いました。

地域住民と共に、未来を描く活動や、養殖牡蠣の課題を克服するためのシステム開発、インスタグラムによる情報発信など、様々な地域の課題に向き合う直向な学生の姿が見受けられ、審査員からの活発な質問も飛び交い会場は大変盛り上がりしました。審査員及び、会場の参加者による審査の結果、プレゼンテーション部門最優秀賞、パネル部門ベストパネル賞は、いずれも鳥羽商船高等専門学校の「カキいれどき(改)」が受賞しました。また、優秀賞は、四日市看護医療大学の「障害児支援サークル「くれよん」」、皇學館大学「あばばい～伊勢志摩国立公園学生部会～」が受賞しました。今後も高等教育コンソーシアムみえでは、地域活動を行う学生を支援していきます。

参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/blogs-by-students/>

三重創生ファンタジスタ学生と 企業との意見交換が行われました。



平成31年3月15日(金)三重大学 総合研究棟II 2階 第2会議室にて、平成30年度第6回教育プログラム開発委員会第3分科会(産学連携推進分科会)が開催され、会議の中で、三重創生ファンタジスタ資格の取得を目指す学生や三重創生ファンタジスタクラブに所属する学生と、分科会構成委員である企業との意見交換が行われました。

まず学生から、三重創生ファンタジスタ資格の取得を目指す中で学んだことや三重創生ファンタジスタクラブに所属した理由等について発言があり、続いて企業の分科会構成委員からは、自社の紹介や参加した学生への印象等について意見が述べられました。



参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/Discussion20190315.html>

三重創生ファンタジスタクラブ× 津市美杉地域振興課でイベント

平成31年3月9日（土）、三重創生ファンタジスタクラブ（MSFC）と津市美杉総合支所地域振興課が協働で、移住促進のための田舎体験イベントを実施しました。

企画立案はMSFCのメンバーで行い、地域振興課へ提案しました。何度も美杉に足を運び、様々な地域の魅力の掘り起こしを行ってから、情報を整理し、会議を重ねて少しずつイベントのカタチを創っていきました。

出来上がったイベントは「美杉なあなあライフ体験&移住相談会」。津市の空き家バンク情報に登録している方々に周知し、その他SNSなどでも発信を行いました。内容は空き家を使って、かまどでご飯を炊き、丸太を使ったコンロでイノシシの肉を使用したぼたん鍋の調理、林業体験を盛り込み、津市職員の方を交えた移住に関する相談会もできるようにセッティングしました。

当日は4名のお客様にご参加いただき、イベントを楽しんだ後は津市職員の方と移住相談をじっくりとおこなっており、かなり興味を持たれている様子でした。

平成30年度のMSFCの大きなイベントはこれが最後ですが、来年は多くの新入部員を勧誘し、さらに活動を広げていきます。ご協力とご支援よろしくお願いたします。



参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/blogs-by-students/30blog>

中部地区COC事業採択校学生 交流会が岐阜県で開催されました。



平成31年3月1日（金）岐阜県みんなの森ぎふメディアコスモスにて中部地区COC採択校学生交流会が開催されました。中部地区の大学11校が集まり、プレゼンテーションとポスターディスカッションを行いました。

各大学それぞれで、学生たちが素晴らし活動をしており、学生だけでなく教職員も良い刺激を得られました。ポスター発表の時間では学生同士の交流も多く見られ、今後の取組みの参考にしているようでした。

参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/blogs-by-students/30blogs/>

三重創生ファンタジスタの養成は

下記の事業協働機関とともに行っています

【高等教育機関】四日市大学、四日市看護医療大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿大学、三重県立看護大学、皇學館大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿大学短期大学部、高田短期大学、三重短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校

【自治体】三重県

【企業(50音順)】(株)アーリーバード、ICDAホールディングス(株)、(株)医用工学研究所、(有)オズ海島遊民くらぶ、(株)サン浦島、(有)深緑茶房、(株)ZTV、大王運輸(株)、中外医薬生産(株)、辻製油(株)、(株)ドリームエージェント、(株)中村製作所、日本土建(株)、(有)野瀬商店、橋本電子工業(株)、(株)ハツメック、速水林業、万協製菓(株)、

(株)光機械製作所、(株)百五銀行、(株)百五総合研究所、(株)ヒラマツ、扶桑工機(株)、(株)前田テクニカ、

(株)マサグループ本社、三重県商工会議所連合会、三重県商工会連合会、三重県中小企業家同友会、三重県農業協同組合中央会、(株)三重ティーエルオー、三重テレビ放送(株)、(株)メディアサポジャパン、(一社)わくわくスイッチ

文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」

地域イノベーションを推進する三重創生ファンタジスタの養成
国立大学法人三重大学 地域人材教育開発機構

<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/>